



元気に挨拶 笑顔で挑戦 夢が広がる大北小

大北がより

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-tky.ed.jp>

学校評価号

令和7年 1月31日

練馬区立大泉北小学校

校長 松井 貴子

令和6年11月に保護者の皆様に学校評価アンケート19項目について回答していただき、431家庭
中271家庭、回答率約62.8%でした。ご多用の中、ご協力ありがとうございました。

皆様のからの貴重な評価、児童のアンケート結果と学校評議員の皆様からのご意見も参考にしながら、
今後の教育活動の改善に努めてまいります。

◎保護者 学校評価アンケート（令和5年度との比較 青：上昇 / 緑：ほぼ同じ / 赤：下降

肯定的な回答が85%以上

2 お子様は、友達と仲良く生活している。	97.4%
10 お子様は、集団生活のきまりを理解し、責任をもった行動ができる。	95.6%
1 お子様は、楽しく学校に通っている。	95.6%
19 学校は、学校施設の整備や校内環境美化に努めている。	90.8%
9 お子様は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)が身に付いている。	89.3%
17 学校は、教育目標及び方針、教育活動を分かりやすく伝えている。 (学校だより・HP・メール配信、保護者会等)	89.3%
15 学校は、体力向上や健康・安全に関する取組みをしている。	89.0%
4 お子様は、場に応じた返事や挨拶が身に付いている。	88.5%
7 学校は、ICT等を活用し、分かりやすい授業や楽しい授業に努めている。	86.4%
11 学校は、心のふれあい相談員・スクールカウンセラー・あおぞらルーム・ 養護教諭等、さまざまな相談できるところがあり、連絡や相談をしやすい。	85.6%
13 お子様は、学校での出来事や様子をよく話している。	85.3%
8 お子様は、SNSルール等を守り、タブレットパソコンを使って楽しく学習している。	85.3%

肯定的な回答が80%以上85%未満

14 学校・家庭・地域が連携、協力し「自分の身は自分で守る」安全 教育を推進している。(PTA活動・保護者・ボランティア・応援団活動・地域行事等)	83.8%
3 お子様は、目標や夢をもって生活している。	81.6%
5 お子様は、傾聴の姿勢が身に付いている。	80.8%

肯定的な回答が80%未満

16 学校は、いじめを許さず、一人ひとりに居場所のある温かい人間関係を築く教育を 保護者や関係機関とすすめている。	78.6%
6 学校は学校図書館の活用や読書活動を推進し「言葉の力」を身に付け、 自ら考え判断し行動する子供を育てている。	77.8%
18 学校・家庭・地域が連携・協力し「目指す15歳の姿」を意識した多様 な教育活動をしている。	71.2%
12 お子様は、家庭学習において計画を立てて取り組み、家庭学習の習慣 が身に付いている。	66.4%

アンケートの肯定的な回答が80%以上となった項目が、19項目中15項目であり、これまでの成果が着実に上がってきています。これも保護者のみなさまが本校の教育活動にご理解ご協力いただいているおかげです。

また、80%未満の項目でも、昨年度より下降している項目がなく、少しずつですが向上しております。80%未満の項目については、以下に重点を記載いたしました。

今後もよりよい教育活動をおこなっていくために、改善を図ってまいります。

保護者の皆様、ご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

家庭学習の取組 項目12

昨年度より4.7pt増えており、少しずつですが定着してきています。本年度も実施いたしました。「算数得点アップウィーク」「家庭学習促進旬間」を次年度も実施していきます。お子さまが作った家庭学習の計画書をもとに、定期的に家庭にもチェックをしていただき、児童の取組を支援していただけたらと思います。低学年においては、保護者の方と一緒に学習をすすめていくことが必要です。学校と家庭ごとの連携を大切にしながら、家庭学習習慣の定着を図るようにしていきます。

学校・家庭・地域連携 項目18

昨年度より15pt増えています。今年度は開校50周年行事で、PTAの方々、地域の方々の多大なるご協力をいただき、子供はたくさんの充実した体験をすることができました。生活科の町探検等では、多くの保護者の方の協力をいただきながら実施することができました。また、毎年実施している農業体験や白子川体験活動や、今年度実施の海外小学校とのオンライン交流など地域はもちろん、海外の教育機関と連携した国際理解教育の充実を図り、多様な教育活動を今後もすすめていきます。活動の様子は、学校だよりやHP等で発信し、今度も保護者の方や地域の方の理解と協力を図っていきます。

読書活動の充実 項目6

昨年度より12.6pt増えています。

毎年2回の読書旬間や学校図書館の活用を推進してきて成果が徐々に現れてきています。

読書旬間には、大泉図書館との連携、お話の会、図書委員会児童の活動、図書コラボ給食、校長先生による読み聴かせなど多くの取組をしています。今年度の秋は、1年生の保護者の方に読み聞かせボランティアをお願いし楽しい時間をもちました。次年度も読書旬間に保護者・地域の方による読書ボランティアをつのり、子供たちの豊かな感情を育てていきたいと存じます。また、引き続き朝の会や帰りの会で、読んだ本の感想や簡単なあらすじ等を発表する時間を設定し、言葉の力や思考力を育む取組を取り入れていきます。読書活動を通し、夢や目標への課題意識をもたせるようにしていきます。

学校司書教諭と学校図書館支援員による年間指導計画を確実に全校で実施することで、語彙力や読解力、想像力を伸ばし、「言葉の力」(＝情報を正確に理解した上で相手の表現の意図や背景を推論し、根拠を挙げて自分の考えを述べ、話し合っって課題を解決する力)を身に付けさせていきます。

居場所づくり 項目16

児童一人ひとりが安心して過ごすことができるように、今後もいじめの早期発見・迅速な対応、防止の徹底を図ってまいります。また、よりよい人間関係を築くためにできることを考え工夫して取り組む機会を設定し、保護者の方とも連携を図ってまいります。